

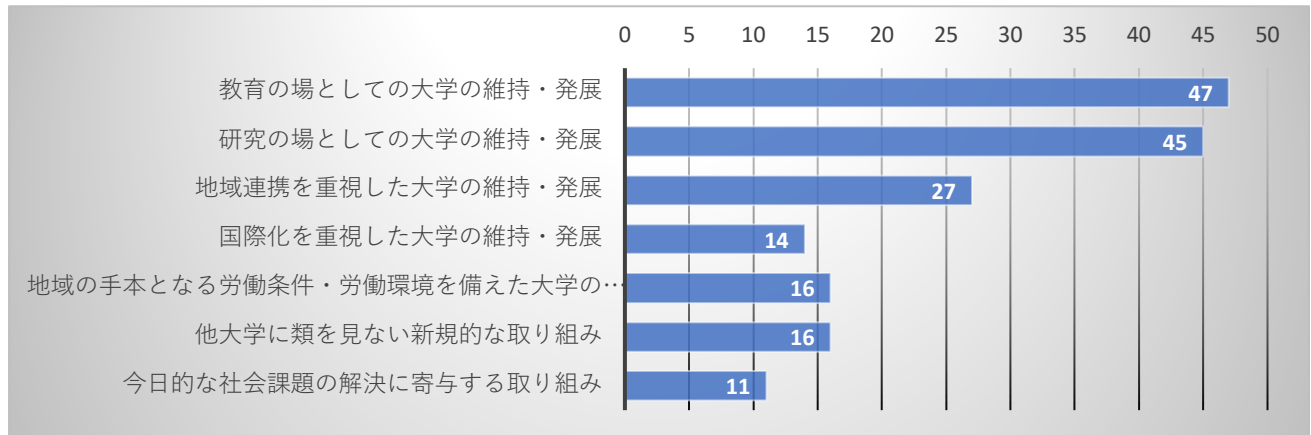
2022 年岡山大学学長選考：次期学長に望むことアンケートまとめ

岡山大学職員組合

67 件の回答（2022 年 11 月 16 日 16:00 時点）

これからの岡山大学の姿としてあなたが次期学長に望むことはなんですか？ 最大 3 つまで選んでください。

67 件の回答



これからの岡山大学の姿として次期学長に期待することを自由にお書きください。

39 件の回答

- 大学が一丸となって進むべき方向を大学全体にわかりやすく伝える力と推進力
- 現在の岡山大学（多くの国立大学もそうだが）ではトップダウンの体制が強化されて実際の現場の声が執行部に届きにくくなっている。現場の声を着実に反映した運営を行うことを期待する。
- 岡山芸術交流の協賛者として、岡山大学が名を連ねていることがたいへん遺憾だった。セクシャルハラスメントの問題を起こしたプロデューサーを立てての運営に、市民に多くの憤りを与えた事業に対して、教育機関が賛同することがあってはならない。社会的責任をしっかりと踏まえることができるような次期学長を希望する。大学が、性暴力を容認するような事業の協賛になるようなことは、決して許されない。今回、市民からの岡山大学への信頼が失われてしまったケースであることを、次期学長は肝に銘じるべきだ。
- 対話を大事にした大学運営
- 現場のことをよく理解し、絵に描いた餅で終わらないように公約したことは実現する。
- 文科省の言いなりになって、浮ついた国際化やカリキュラム改革に振り回されるのはもうやめましょう。しっかり足元を見て、職員のことを考えてください。
- 部活動のが頑張る生徒にもっと目を向けてほしい。部活の施設不備に悩む部活動が多数あります
- 地域に開かれた大学の姿の推進。
- 学生が親しみやすく、どの学生も学長先生のことを知っている！！というような環境になれる、学長先生がいいです。

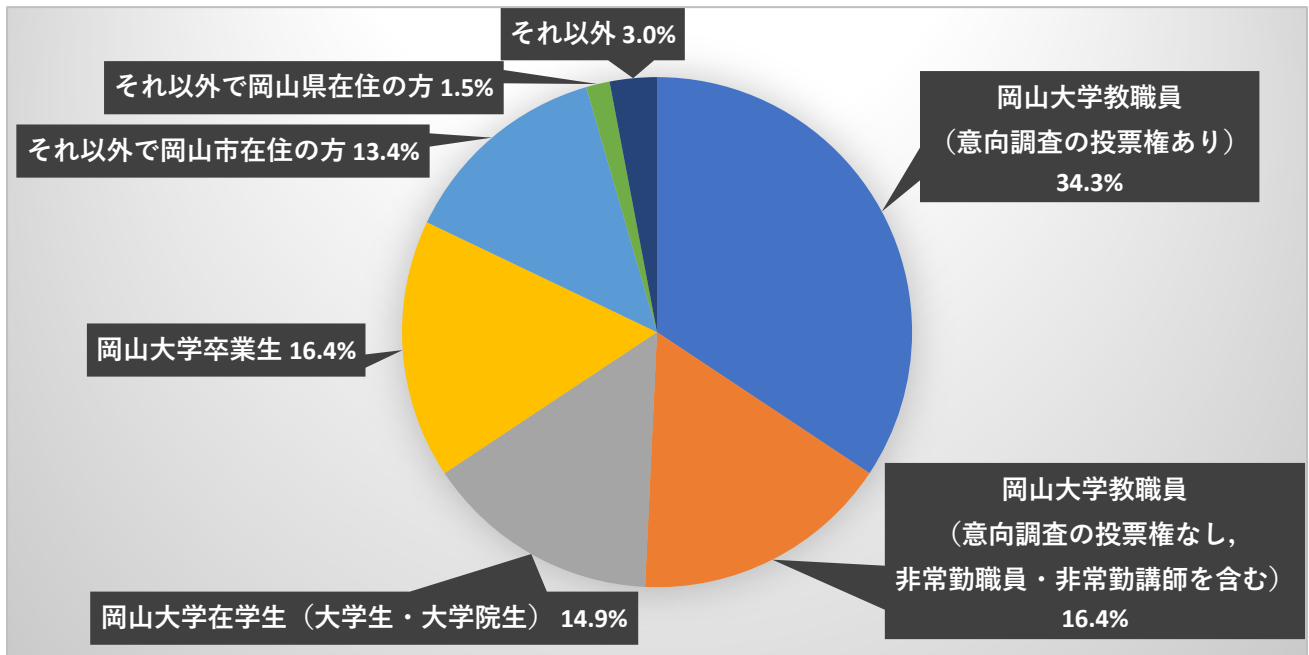
- 教授、職員、学生、市民のできるだけフラットな関係を重視して、岡山の教育、多種にわたる研究を牽引して欲しい。透明度の高い運営をお願いします。
- 他にない新しくワクワクする大学
- 岡山大が岡山県の中心として様々な分野で地域の活性化やまちづくりに貢献する事業展開
- 課外活動に対する理解、関心を高めてほしい。大会とテストの日程が被らない、被っても公欠ができる等々の対応。施設使用についての融通が効く状態にしてほしい
- 岡山大学を名実ともに向上していただけるような、地域貢献を中心とした取り組みをさらに発展させていきたいです。
- 地域の中心部にある大学として、地域連携を強化してほしい
- 学生が岡大を誇りに思える所にしてください（一般的な学歴や偏差値では表せない価値で）
- 学生の学びの場作りと工夫
- 世界各地の大学へ進学又は共学できるゲートウェイとなる事で日本の中の岡山大学から、世界の中の岡山大学へと成ることを目指してほしい。
- 地域に根差し、全員にオープンな大学
- 私的感情による大学運用に走る事のない人格高潔な方
- 中四国の中核を担う大学としての自覚を持ち、あらゆることで一段上を目指してもらいたい。
- 教育研究の場として、開かれた独善的ではない運営を行っていただきたい。
- 閉塞感のない開かれた大学にしてほしい。現状のようなクローズドなところで物事が決まらない、決めない大学にしてほしい。
- 地域のハブとなるような地域連携を自治体だけではなく民間企業ともタイアップして行える姿を期待しています。
- 教員の事務負担（特に学生雇用・謝金支払い関係）・書類作成・研修などの軽減、②大学院生の研究時間確保（教養やSDGs 関係科目の授業準備や課題の負担が極めて大きく、自身の研究時間がとれないとの声を複数聞いています）
- 部局の人事に過度に介入しない。
- 学部の権限の強化、人文社会科学系分野への配慮
- 人事の原則を確立し、恣意的な人事をしない総務担当理事を選ぶこと
- 自由に意見が言えて、皆んなで正しい議論が出来る場を作って貰いたい。
- 学生、教職員の意見が広く収集され反映される大学
- 近隣大学との統合
- 10年先を見据えた改革を断行しないと、おそらく岡山大学は消滅します。痛みある改革も含め、頑張っている人が日の目を見られるようお願いします。
- 部活動の活性化
- 教職員が主体的に大学運営に関わり地域や国際社会と連携していくための前提条件として、まずは学内で真の意味での情報公開とそれに基づく開かれた対話の機会をつくることに努めていただくことを大いに期待します。岡山大学がこれまで試みてきたパフォーマンス的な「対話」や「D&I」や「アンケートの数々」は教職員だけでなく、学生からも冷ややかに見られています。既にマイナスからのスタートであるということ肝に銘じていただき、更なるパフォーマンスを重ねることに猛進

するのではなく、中身のある対話、意見徴収の有効活用、現状を正しく把握しメリット・デメリットを十分検証した上での変革等を期待いたします。パフォーマンス的な制度改革は百害あって一利なし。大学教育にとっても研究力の向上にとっても負荷にしかありません。よろしくお願いいたします。

- 頑張っている人が正当に評価されること。仕事に責任がちゃんと伴う組織になること。
- 経営が厳しいことは分るが国立大学法人として、あるべき姿を追求してほしい。教育面・研究面でも、労働環境・労働条件的にも「やっぱり岡大」と思われることは必要と考える。
- 社会に順応した雇用環境（年金受給が70歳になろうかという今日で60歳定年制は早く、選択制にして欲しい） 国際的にひらかれた大学（もっと留学をしやすい環境に） 美しい教室とキャンパス（教室が今ひとつ美しいとはいえない）
- さまざまな目標を掲げられると思いますが、その言葉の意味を学長が理解し、関連の活動と合わせてゴールを教職員・学生らと共有できた上で実行していただきたいと思います。例えば現在のSDGs推進のように表面的なパフォーマンスのみはとてもむなしい。学内何も変わっていません。SDGs推進は良い事です。だからこそ、SDG8「ディーセントワーク」や5「ジェンダー平等」など、教職員・学生らの要望を受けとめて実践してほしいと思います。大学のグローバル化も同じです。外国籍の教員数や学生数を目標にするだけの、表面的なパフォーマンスは時代遅れです。公正な採用過程や多様な人材が働き・学びやすいよう、グローバル化の内容を充実してください。
- 学生だけでなく、教職員も大切に作る大学であってほしい。競争ばかりを促し、ぎすぎすした職場を作ることが、学生や地域にとって良いのか、新学長にはよく考えてほしい。

あなたの属性を教えてください。

67 件の回答



あなたのご職業を教えてください

67 件の回答

